

ペットは「捨てる前に相談を」

引越しシーズンはペットの受難期。大阪府環境保健部の調べによると府下の保健所に持ち込まれるペット犬は三月に急増。中には、山に捨てる無責任な飼い主もあり、捨て犬の里親探しをしている動物愛護団体では「捨てる前に相談を」と呼びかけている。

平成三年度に府下（大

阪市、東大阪市、堺市を除く）の保健所に持ち込まれた犬は約七千匹で、うち成犬は二千匹。月別の増加数では、三月が一番多く、前月比で百匹増。ペット犬が飼えないマンションなどに引越すなどが原因らしい。

府環境保健部が、四年前から啓発パンフを作

り、引越し業者に配つ

ているが効果はあまり上がっていないという。池田保健所（同市満寿美町三）の話では、能勢や豊能の山などで、首輪をつけた犬がさまよい、住民からの苦情が多い。

二十年前から犬、猫の去勢手術などと呼びかけている財日本動物福祉協会大阪支部では、捨て犬の里親探しも実施。これ

引越しシーズン 無責任飼い主増える

までに二千匹以上の飼い主を見つけている。

生島マサ子代表（五〇）は「安易に捨てず、町にビラを張るなど飼い主を探す努力をしてほしい。それでダメなら相談に乗ります。他人に迷惑のかわらない飼い方がありません。からは、今後は良い飼い方の普及に努め、集合住宅でも飼えるように働きかけていきたい」と話している。☎06（361）0968、同協会。